

- 1 開催日時 令和4年11月30日(水) 10:00~12:00
- 2 開催場所 府立西淀川支援学校 2階 図書室
- 3 出席者(委員) 山中委員、大槻委員、西野委員、畑森委員、上久保委員、小川委員
出席者(学校) 貴志校長、中尾事務長、藤原教頭、苅谷教頭、山田首席
傍聴者
- 4 協議資料
 - ・令和4年度 学校教育自己診断(考察)
 - ・「令和4年度学校経営計画及び学校評価にかかる中間評価と次年度に向けての展望」

○議題

- ・「学校教育自己診断」について
- ・「令和4年度学校経営計画及び学校評価」にかかる中間評価と次年度にむけての展望
- ・その他

○内容

1. 校長より

ご出席いただきましてありがとうございます。先々週からコロナの感染者が多くなり、小学部でコロナ不安によりお休みをする児童が増えたため、小学部に限り文化祭を延期した。今後も状況を見て「メリハリのある感染対策」を行っていききたい。今回は、学校教育自己診断アンケートについて、また経営計画中間報告について、来年度へ向けてブラッシュアップをしていききたいと思っている。

2. 「学校教育自己診断」について(首席より)

- ・保護者からのアンケート結果について、おおむね90%以上の肯定的意見をいただいている。
- ・コロナの感染予防のため、行事等を見ていただく機会を制限してきていたが、今年度に入り、従前の状態へと拡充してきている。
- ・学校HPの活用については肯定的意見が82%となっており、課題は残っている。
- ・自由記述回答に関しては、保護者用の駐車場の確保の要望が上がっていた。本校の敷地が狭く、また大きな幹線道路に面していること、バスやデいの車が多数出入りすることなどに対して、教員の人員を割いて安全に対応することを心掛けている状況。
- ・教員からのアンケート結果について、肯定的な意見が80%以下だった項目が、10項目あった。校内体制で、教員の意思を校務に反映していけるか、また校内人事に際して、適材適所で配置できるかが課題。ただ、この80%以下の項目が昨年度と比較して半減していることもあり、引き続き、組織運営PTの中で改善策を提言していききたい。

【委員より】

〈校舎の老朽化について〉

- 校舎の老朽化とありますが、具体的にどういった部分ですか。
- 全体的に古いのは仕方がないが、ガラス張りの窓がたくさんあるので、防災の観点からもアクリル板に変えてほしい。また全体的に暗い。わが子の入学時に比べると、フローリングやバリアフリーが施されている。新入生の保護者からは、「行ってみたらきれいだった。」という感想も聞いている。隙間風などは仕方がないかと思う。
- 対府要望にも上げているところだが、電気、水道などに関しては、例えばトイレが改修されてきれいになっても、水道管が小さいなどの課題がある。ガラスには飛散防止フィルムを貼ることができるのでは。
 - （校長より）設計そのものが古く、府の改修基準の開校50年目の時に、ガラスや戸等の改修も実施してもらえるかも。あと7～8年あるが、学校として、年度ごとに改修の要望はあげている。教室の床が絨毯だったところも随時フローリングへと改修している。

〈学校 HP の活用・写真の販売について〉

- HP の活用について、コロナ禍では、休校の情報などもありたくさんの保護者が閲覧していたと思うが、最近更新も少なくなってきた。学校からのお便りを HP に掲載してそれに替えることには賛成だが、保護者への周知が必要だと思う。デジタルへの過渡期なので、ブログ等を見るように働きかけてほしい。また、そのブログの内容も学年によって内容が違う。児童生徒の写真が出ているものと、文章ばかりのものもあり、後者なら見ないという保護者もいる。もっと内容に工夫があって学校の様子が見えるものにしてほしい。例えばトイレの改修や体育館のエアコン設置等、学校からの情報をもう少し多く掲載してほしい。先生たちの名前、顔がわかるプリントが今年度は配付されなかった。先生たちのことがわからないような、学校に対して興味がない無関心な保護者が増えてしまうのでは。
 - （教頭より）学校からの配付資料に、随時学校 HP の QR コードを掲載していく。
 - （首席より）児童生徒の写真の取り扱いには課題があり、個人情報承諾書で掲載可否の確認をしているが、個人情報保護の観点から二の足を踏んでしまう現状がある。
- HP にパスワードをつけて、クローズネットで情報公開してはどうか。HP 掲載可能の許可を取っている意味がないのでは。二の足を踏むのもわかるが、掲載不可としている人のことは守られて、掲載可としている人のことが守られないのはもやもやがある。写真を掲載してほしい保護者の気持ちもくみ取ってほしい。
- あさしお園で、Instagram を始めたが、その際にどこまで掲載可能か、背面から顔が映らなければ大丈夫なのか等を細かく確認した。また、行事などの写真販売については、サイトを利用していく予定。先生の労力なく使え、お金がかからない方法である。
- 学校での写真を個人懇談でも見せてもらえない、ブログに出してもらえない、とても中途半端な状況。写真販売をしてほしいという意見はある。
- あさしお園での場合、保護者との連絡ツールとして、電話だと言った言わないのミスがあるので、メールでのやり取りでしている。アプリやアイコンは開けやすく、ワンアクションで

き、写真も貼れる。

- 学校での様子をタブレット端末で撮ることもできるが、子どもを見守る先生と写真を撮る先生で2名必要となる。教員数を確保してほしい。
- どの組織においても、業務量の偏りは仕方がないかと思う。できる人に仕事が集中してしまう。
→（首席より）できる人に頼ってしまう状況があり、そうならないよう、できるだけ効率的に業務を引き継ぐために、昨年度から引き継ぎ資料作成のマニュアルと手順を明確にしている。効果的でわかりやすくなった。
- デジタル化をすればするほど、省力化するところとしないところが出てきてしまい、トータルで見たら変わらないのでは。デジタル連絡ノートにしても、ぎりぎりまで更新できるのでどこまで記入し続けるかの終わりが見えにくくなるのでは。事業所内でLINEワークスを使っているが、ワークス上で個人的な情報を返信される方もいて、良い面も悪い面もある。教員・保護者にとって過度な負担にならないように進めていくことが大切では。

3. 「令和4年度学校経営計画及び学校評価」にかかる中間評価と次年度にむけての展望（校長より）

- ①【新学習指導要領への移行を踏まえた肢体不自由教育の実践力の向上のために、効果的な教育課程を編成して実施・評価・改善を図る】
 - 新学習指導要領を受けて、その新しい考え方が浸透しているか？という観点で、教育課程や観点別学習評価の視点をより意識した形に変えているので。定着させていきたい。学校教育自己診断の教職員診断の中で、「年間の学習指導計画やシラバスについて、各部、学年、教科、学習グループでよく話し合っている。」という項目の評価が低かったので、ここに課題があるのではないかと考えている。
- ②【将来の自立と社会参加をめざし、児童・生徒一人ひとりの実態を踏まえた教育活動を推進する】
 - with コロナの時代となり、行事に関して保護者を招いて実施できている。GIGAスクールについても、教職員が中心となつてのタブレット端末活用が定着してきている。就労に関しては、就労先が決定した生徒も出てきており、他生徒も実習をしながら就労への意識ができてきている。西淀ギャラリーに関しては、日常的にみられるように常時設置し、保護者の方にも多数来校していただけて良かった。また今年度、長居スタジアムで行われたスポーツフェスタに本校から児童生徒が出場し、貴重な体験を提供することができた。
- ③【子どもの障がいの状況に応じたより良い教育活動を実践するため、特別支援教育に関する高い専門性と授業力の向上をめざす】
 - 今年度より「自主学習会」を実施し、教室で使える技能の学習会を随時行っている。また2月には大阪府自立活動研究会研究協議会が本校にて行われ、成果を発表する。

- ・今年度から教員の指導力向上のため指導教諭を配置している。

④【共生社会の形成に向けて、障がい者理解並びに人権教育を充実させるとともに特別支援教育の地域のセンター校としての役割を強化する】

- ・大阪市のインクルーシブ教育推進担当と協力をして地域支援に力を入れている。また居住地校交流に関して、保護者より要望があったところは100%実施できている。

⑤【学校・家庭・地域との連携と安全・安心な学校づくりを推進する】

- ・目の前の子どもたちをどうまもるか。今年度PTA主催の防災研修にて、防災士にご講演いただいたがその中で「逃げたら終わりではなく、保護者の迎えがくるまでどうするか」の課題があると指摘いただいた。例えば、避難先の西淀工場に、避難物資を設置させていただけるか等、地域との関わりが今後も大切になってくる。

【委員より】

- ・スポーツフェスティバルや文化祭など、行事をやり切れて、修学旅行も2泊3日で実施できて、残すは卒業式となった。充実した高校3年間でした。感謝しています。
- ・教育層の年齢のアンバランスとは？
→（校長より）50代はもともと採用人数が非常に少ない上に、重要なポストについている。40代も少なく、同じく重要なポストについている人も多い。20代～30代が多く、特に2～3年目の教員、初任を育てることが課題。指導教諭による、初任の指導に加えて、初任を指導する先生の指導も必要となっている。
- ・授業参観でも、目的や効果などをねらって細かな準備をしておられるが、昔は時間外にできていたものでも今は時間外も認めてくれず、短い時間で業務も増えている状況の中、若い人はメンタルが弱いところもあるので、これは教員だけの問題ではないと思う。文科省の目標も半分ぐらいにしたら…と思う。多すぎないか？授業だけを見てもすごいと思うのに、すべてを100%やれというのはかわいそう。
→（校長より）子どもと触れ合うことが教員の喜びである。2、3年目の先生のいいところを褒めると嬉しそうにするので、強みとしていきたい。
- ・西淀工場について、特定避難場所には入っていないが、実際には求められる人もいる。北部地震の時も近所の人々が来られて、炊飯器をつないだことがあった。防災士からお話があった、西淀川支援学校の避難物資を西淀工場に常設することに関して、置けるかどうかはわからない状況。平成7年に工場ができたので、閉鎖建て替えの話がおそらく3～4年後になるのでそこから工事期間（4年間ほど）は避難場所として利用ができなくなる。その間は、別の避難場所をご検討いただきたい。工事の時期が決まり次第、発信させていただく。西淀工場は、水や毛布がある避難場所ではなく、焼却工場なので、水蒸気爆発等のトラブルが起こるかどうかもわからないところもある。避難先となりえるよう努力していきたい。

4. その他（校長より）

- 今年度 9 月の議会報告の中で、非常時の避難経路の不備に関してご指摘を受けた。今年度内に改善。